

部活動一大会報告



バレーボール部

6月6・7日(土・日)に南丹高校でインターハイ支部予選が行われました。

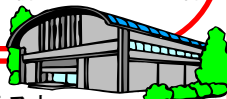
●成績・結果

1回戦を2-0で乙訓高校に快勝して2日目の2回戦へ進出しました。2回戦は0-2で向陽高校に惜敗しました。

インターハイ予選までに4月26日(日)に京都教育大学附属高校で春季大会予選リーグ戦で、1勝2敗で本戦出場はかないませんでした。エースの活躍やサービス・エースなどそれまでの練習の成果と今後の課題を見極めることができました。5月17日(日)の総体では、1回戦敗退でした。得点を焦るあまり、ネットを超えないフェイントやサーブミスなど後ろ向きの気持ちの時に起きるミスをたくさんしました。それらの課題を一つずつ解消し、技術を向上させるべく毎日の練習に取り組んでいます。

★現在、3年生が引退し、新たに2年生が入部してくれましたが、部員数が5人と公式戦に出る条件を満たしていません。今後は1・2年生から一人でも多くの部員の入部を促し、来る秋の新人心に向けて練習に励みたいと思っております。

放送部



●大会名 第48回京都府高等学校放送コンテスト

●日時 6月13日(土)、14日(日)

●成績・結果 アナウンス部門1名 朗読部門4名 ヴォイスアクト1名 参加

朗読部門 優良賞 浅井かなえ(3-3)

入部以来こつこつ頑張ってきた3年生が評価してもらえて、全国大会行きは逃したものの、まずは良かったとホッとしています。今回は体調不良で2名が棄権をしてしまいました。心身ともに万全の準備で次の大会に臨みたいと思います。8月には三重県松阪市で行われる全国総合文化祭に京都府代表として2名(西山奈津美・中澤廣紀)参加します。いい結果が出せるようにさらに練習に励みたいと思います。

秋以降、放送部として対外的に活動するのは1年1名、2年3名になってしまいました。みな兼部です。でも、アナウンス・朗読ばかりでなく、ラジオやテレビの番組作りにも積極的にかかわっていきたくと思っています。応援よろしくをお願いします。

6月16日深夜にはKBSテレビで「甲子園をめざして」という、野球部紹介ビデオが放映されました。まだまだ稚拙な内容ですが、絵コンテを起こすところからはじめて、一生懸命作りました。わずか2分間の作品に、1時間半のビデオ撮影では足りなかった、という経験をスタートにして、今、次の作品を起案中です。いい報告をお待ちください。

自転車競技部

★自転車競技部 1学期をふり返って★

3月の全国高等学校選抜自転車競技大会総合優勝から4ヶ月。この間、韓国のチョンジュMBC国際ロードレースに日本代表として2名、全国高体連選抜チーム代表として3名が海外遠征し、さらに6月ドイツへ日本代表として海外を転戦しました。この間にも、秋田での全日本ロード個人タイムトライアルで2年の徳田が優勝、山口の防府で行われたジュニアオリンピックでも男女合わせて4名が入賞しました。6月の3週目にはインターハイの近畿ブロック予選があり2種目優勝、4種目で2位入賞しトラック総合優勝すると共に全国大会への切符を6個人種目1団体種目で獲得し、夏のインターハイ総合優勝めざし取り組んでいるところです。この間怪我や故障、調子の下降する選手もおり各種全国大会でのレベルの高い競技に、精神的にも肉体的にも一回り大きくなれたと自負しています。どの競技大会でもベストを尽くすことはもちろんですが結果が出ないとき腐らず取り組める精神力とチーム一丸となり優勝を目指す緊張感、そしてこの学校にも負けたい練習量で日々、質の高い練習をしています。1年生の新人部員を男女6名迎え後輩を指導することの難しさや安全への意識の徹底等やらなければならないことは沢山あります。7月31日から奈良県で始まる全国高校総体に向け、1ヶ月を切りました。自転車競技部にとって創部23年目の悲願であるインターハイ初優勝と、選抜に続く全国大会2連覇めざし全力で走り抜けます。



陸上競技部

5月16・17日 第62回京都府高等学校総合体育大会(市内ブロック)が行われました。

●成績・結果

男子100m、800m 女子100m、走り幅跳び 参加
女子100mで豊嶋優希(1-3)が決勝に残り、13秒88のタイムで6位入賞。

女子100mで6位入賞は陸上部として久々の快挙でした。昨年に比べ、部員は男子3名、女子5名、マネージャー3名と増え、南丹高校との合同練習を定期的に行うなどしてレベルアップを図っています。

卓球部

今年度、卓球部は5名の新人部員を迎え、高山侃熙主将、岡本直樹副主将の体制で久しぶりに活気にあふれた内容のある練習をして頑張っています。当面の目標としては、8月7日(金)に南丹高校で行われる口丹大会では、学校対抗、シングルス戦のすべてに入賞を目標に努力したいと思います。さらには、秋の大会に向けて取り組んで頑張りたいと思います。

●成績・結果 春季大会(府立体育館)

シングルス戦 加藤大貴(3-2) 1回戦敗退

高山侃熙(2-3) 1回戦敗退

ソフトボール部

●4月25日(日)春季大会が行われました。

立命館宇治 12-10 北桑田

●5月16日京都府高校総体が行われました。

同志社女子 2-6 北桑田 京産大付属 13-0 北桑田

●6月6・7日インターハイ京都府予選が行われました。

聖母学園 3-10 北桑田 綾部 7-0 北桑田

今後、口丹総体が7月18日に、府立高校大会が7月25・26日に、新人大会が9月26日から行われる予定です。

現在、1年3人、2年2人、3年3人の計8人で活動しています。声100%・全力疾走をモットーに毎日がんばって練習しています。どこのチームにも負けない大きい声と全力疾走を目指しています。もうすぐ行われる口丹総体では昨年優勝することができたので、今年も優勝します。(主将)



女子バスケットボール部

全国高校総体京都府予選部大会は5月3日に太陽が丘体育館で行われました。3年生3名、2年生2名のぎりぎり5名で出場しましたが、京都朝鮮中高級学校に敗れ、3年生は引退しました。

地元の中学に女子バスケットボール部がなくなり、全員初心者のチームになってから8年経ちました。バスケットボールというメジャーなスポーツで全員初心者のチームというのは府下でも本校だけでしょう。

この間1学年2~7名の部員数でなかなかチーム内でのラリーができませんでした。今年1年生がマネージャーも含めて7名入部し、日頃の練習で4on4のラリーができるようになりました。ラリーができるとはいえ、技術はもちろん体力もまだまだありません。肝心のシュートもラリーのなかではほとんど決まりません。しかし志有る者は、シュート力を高めるために毎朝シューティングをし、向上心を持って練習に取り組んでいます。真面目に練習している姿をみて、3年生も卒業生も機会を見つけては技術指導にきてくれます。

このような先輩達の支援や御家庭での支援に感謝し、仲間同士で励まし合って頑張れる人になることも、部活動の大きな目標であると考えていますが、やはり試合で成果をあげることが大切です。10月の全国高校選抜大会、1月の京都府高校新人大会に向けて、主体的な練習が欠かせません。

みがく。 かがやく。

京都府立北桑田高等学校

〒601-0534 京都市右京区京北下町刺町沢の奥 tel 0771(54)0022 fax 0771(54)0310
http://www1.kyoto-be.ne.jp/kitakuwada-hs/

ごあいさつ
校長 佐藤 幸雄

serendipity

梅雨とはいうものの真夏のような本格的な暑さが続いています。一学期の終わりを控え、生徒は期末考査に取り組んでいます。まもなく夏の大会に向けた部活動の元気な声や音が響き渡る放課後が戻ってくるでしょう。

毎日出版文化賞などいくつかの賞を受賞している「磁力と重力の発見」という本があります。古代から近代に至る哲学、科学、魔術にわたって書かれた科学史で、アリストテレスからガリレオ、ケプラーなど歴史を彩る科学者が次から次へと登場します。面白いのは、この本でかなり詳しく紹介されるこれらの学者の著作の大部分が勘違いや誤りの集大成であることです。歴史を転換するような大発見が、膨大な間違いの中のほんの一握りの部分に過ぎない。偉大な学者といえども実はよく分からないままに自然現象について考え、ようやく一粒の真実を拾い上げることができたと言う印象です。

先日テレビで岡野工業の社長が「大学では正解のある問題にしか取り組んできてない。我々が取り組んでいるのは正解があるかどうか分からないことだ。」と言っていました。

今年度本校は「よく分からないことに付き合っていける力」が質の高い学力、生きる力に繋がると考え、特に予習を大事にした学習活動を定着させることを目指しています。

保護者の皆様や地域の方々には日頃から温かい視線で本校教育を御支援いただき、おかげさまで、今年度も様々な分野で成果をあげつつあります。今後とも生徒の「心と体の智」を育む教育を教職員一丸となって実践して参りますので、引き続きの叱咤激励並びに御支援をよろしくお願いいたします。

硬式野球部
～お知らせ～

第91回全国高等学校野球京都大会がこの夏も熱く繰り広げられます！

日程 7月11日(土) 開会式

北桑田初戦 7月16日(木) 2回戦 久美浜一日吉ヶ丘の勝者と対戦

太陽ヶ丘球場 第3試合 14:00 プレイボール

※ 応援よろしくお願ひします！

ようこそ！先輩！

教育実習を終えて…

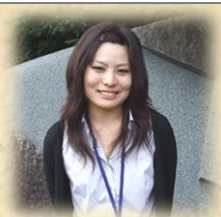


石浦 紘平 先生
東京農業大学
実習期間 6月1日～12日
教科：農業

私はこの2週間で成長し、社会に出る前に良い経験ができました。

生徒の時には気付けない、先生方から生徒への期待や、教壇に立つ以外の仕事など、本当に自分が成長できる良い期間でした。今後の生活にこの経験を活かしていきたいです。また、活かすことが今回ご指導いただいた先生方への恩返しだと思います。

2週間、貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。



比果 彩 先生
京都市立芸術大学
実習期間 6月1日～12日
教科：芸術

母校である北桑田高校に教育実習に来て思ったことは、生徒はみんな良い子ばかりで、真面目だし、先生方とも仲良しで本当に良い雰囲気为学校だなど改めて感じました。この高校を卒業して良かったなど、先生として来て、更に思うことが出来たので嬉しかったです。



武田 誠 先生
酪農学園大学
実習期間 6月1日～12日
教科：農業

2週間はあっという間ですが、この2週間は私が生きてきた人生の中で最も勉強した期間だと思います。短い期間でしたが、とても貴重な経験をさせていただきました。これから社会に出る上で、この貴重な経験を活かし、社会に通用する人材になりたいと思います。また、生徒たちもとても優しく、温かい生徒ばかりでした。これも北桑田高校の環境が良いからだと思います。北桑田高校卒業生で本当に良かったと心から思いました。



岡本 良太 先生
大阪体育大学
実習期間 6月1日～19日
教科：保健・体育

3週間の実習を通して、特に保健体育の授業をするために必要なのはしっかりと知識とそれを生徒に正確に伝える技術だと思いました。

生徒たちは素直で元気な子が多く、生徒と接している時はとても楽しかったです。

先生方には熱心にご指導していただき感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

実習を終えて、更に教師になりたいという気持ちが強くなりました。教師になるという夢を叶えるために、この経験を活かし頑張りたいと思います。